

令和8年度  
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験  
【一般】

日 本 文 学 専 攻  
専 門 科 目 試 験 問 題

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机のうえには、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込みを許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和8年2月21日実施

令和8年度2月実施  
総合文化研究科日本文学専攻 言語・文学コース／創作・批評コース（専門科目）  
問題文・採点基準

1. 問題文

問1から問3の問題にそれぞれ答えなさい。

〔問1〕 以下の項目から二つ選択して、それぞれ知るところを具体的に述べなさい。（それぞれ600字程度）

- 芥川龍之介
- 村上春樹
- 吉本ばなな
- 〈内向の世代〉
- 大衆文学（現代におけるサブカルチャーを含む）
- 『文藝時代』（雑誌）
- 『戦旗』（雑誌）
- ロシア・フォルマリズム
- 間テクスト性
- ナラトロジー
- ポストモダン

〔問2〕 以下の項目から一つ選択して答えなさい（600字程度）

- ア 〈信頼できない語り手〉という用語について、具体的な作品をあげ、知るところを述べなさい。
- イ 〈日本語文学〉という概念について、具体的な人物名あるいは作品をあげ、知るところを述べなさい。
- ウ 日本文学における〈労働〉について、具体的な作品をあげ、知るところを述べなさい。
- エ 日本文学における〈戦争〉について、具体的な作品をあげ、知るところを述べなさい。

〔問3〕 以下の五つの組み合わせのうち一つを選択して、知るところを具体的に述べなさい。（600字程度）

- ア 「小さな政府」と親密圏
- イ 国民国家とディアスポラ
- ウ ポストフェミニズムと新自由主義
- エ 正義とケア
- オ デリダとエクリチュール

## 2. 出題意図

### 〔問1〕

挙げられた項目はそれぞれ、日本近代文学史に関わる基本的な事項（作家・文学グループ・ジャンル・文芸誌）と、文学研究および文芸批評に際して必要となる基礎的な理論である。

すべての項目は文学史および文学理論の概説書にほぼ記載されているレベルのよく知られた事項であり、特別にマイナーなものではない。ここでは自身の専門のみの限定的な視野にとらわれることのない、総合的な知識を問うている。

### 〔問2〕

項目「ア」は、文学テキストの分析における「語り」の問題を考察するにあたり、基礎的かつ重要なタームの内容を問うている。

項目「イ」は、狭義の「日本文学」という枠組みを更新する昨今の文学研究における動向に関する知識を問うている。

項目「ウ」および項目「エ」は、時代を問わずテーマの観点から文学テキストを捉え返す発想と、文学史上の基本的な知識を問うている。

### 〔問3〕

ア～オの組み合わせはすべて、それぞれを関連付けて論じることが可能なトピックである。ただし、安易な対立項や類義語ではなく、各トピックの概要において重なる要素を積極的に結び付けなければ意味のある解答を導き出すことは難しい（それぞれのトピックをただ並列的に説明するだけでは、不十分であるということ）。

現代思想を含めた広範な理論や社会的課題を把握した上で、具体的な問題設定とそれに対する論理展開ができる力を問うている。